

2

三宅
みやけ

和広
かずひろ

議員



詳しくはコチラ



生成AIを業務に活用してはどうか

Q 生成AIを業務に活用する自治体が増えていて。生成AIを業務に活用するメリットは大きいものであり、本市でも活用していく必要があるのでないか。また、プライバシーの侵害や誤った情報の提供、倫理的な問題の発生などがデメリットとして挙げられる。そうしたことを考えると、市民の皆さんも本市ではどうなっているのか関心を持っているのではないか。

A 現在、文章を作成する生成AIを試験的に利用している。利用期間は8月と9月の2ヶ月間で、業務用パソコンからChat GPTを利用できるようにしている。

生成AIには、事務の効率化やアイデアを補完してくれるというメリットがある。一方で、個人情報等を入力してしまうと情報が漏えいしてしまうといったリスクがあり、慎重な運用が求められる。そのため、生成AIの利用ガイドラインを作成し、現在、試行的に運用している。

